

玉村町 文化財通信

2023年4月6日発行

(次号5月発行予定)

第12号

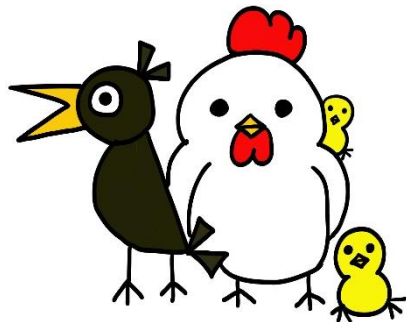


～ちよっとそこまで古探訪～

玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol.11

前回の「和泉屋『母と娘』引札」に描かれているのは、ニワトリとヒヨコ、そしてカラスです。ニワトリもカラスも、吉兆を表す生き物です。ニワトリは「朝を告げる鳥」と言われ、「太陽を呼ぶ生き物」とされています。カラス(特に3足の八咫鳥)は神の使いであり、中国では「太陽に住む生き物」と言われ、「太陽の象徴」とされています。1月1日のことを「元日」といいますが、1日の朝のことは「元旦」といいます。本来、元旦の旦の字は地平線から太陽が昂る様を表し、初日の出の意味があります。こうしたことより、新年の挨拶に配られたこの引札には、太陽にまつわる吉兆のどうぶつが描かれているのかもしれませんが。

さて今月は「○頭観世音」の石塔(角淵)です。昭和16年日本がアメリカへ攻撃を行い太平洋戦争に突入します。昭和20年の終戦をむかえるまで、激しい戦闘がくり広げられました。県下の空襲は、20年4月に入ると激しくなり、敗戦が決定的となった8月14日、玉村地方も大きな被害を受けました。焼夷弾の攻撃により、多くの焼死者や怪我人さらに家が焼かれました。その被害の多くが角淵地区に集中していました。被害は人や家だけでなく、農耕用家畜も焼死しました。推定18頭のあるどうぶつが焼死し、戦後その供養に石碑が建てられました。またこの石碑には、平和を願う人々の想いが込められています。



イラスト募集!

今後みなさんのスケッチをもとに、『玉村町歴史どうぶつ散歩マップ』を作成したいと考えています。ぜひご協力ください!

資料館へイラストをお持ちいただいた方には、プレゼントを差し上げます☆彡



重田家住宅

～公開・活用にむけて⑫～

重田家住宅での取り組みをご紹介します。

重田家住宅の車庫東側に新たにコンポストを設置しました。4月より重田家住宅部活動を立ち上げ、そのなかで園芸部の活動用に落ち葉等を集めて堆肥を作っていく予定です。

また、敷地内の東側にあるブロック塀にひびが入っていた箇所があったため、補強作業を実施しました。引き続き建物の保存管理、見学者の安全管理に務めていきます。

(重田家住宅管理担当者)

令和5年度公開情報：平日の水・木・金曜日、毎月第4土曜日 10:00～16:00 (最終入館 15:30)

玉村町歴史資料館

くんじょう

燻蒸による休館のお知らせ

歴史資料館では、資料の消毒作業を行うため、下記の期間休館とし、文化センター小ホール棟への立ち入りも禁止となります。期間中、文化財係事務室は総合事務室へ一時移転します。

ご理解とご協力をお願いします。

くんじょう

燻蒸による休館期間

5月8日(月)～14日(日)

FAX: 0270-65-5200 (上記期間中 FAX 番号もこちらに変更となります。)

文化財・歴史資料館 情報

玉村町地域おこし協力隊を紹介します！

令和5年4月より玉村町に地域おこし協力隊が着任しました。国登録有形文化財である「重田家住宅」を拠点として、地域の活性化に取り組みます。

地域おこし協力隊とは…地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、地域の活性化に貢献してもらう取り組みです。

【着任のご挨拶】 富澤のぞみ



この度「食」を通じて玉村町の活性化に取り組みたいと考え、地域おこし協力隊として着任しました。重田家住宅を活用した食のイベントや地域の方との交流会、健康を考えた取り組み、農家さんとの交流等、やりたいことはたくさんあります！歴史的な建造物、重田家住宅を多くの皆様に知っていただき、この場所が玉村町の憩いの場となるよう活動をしてきます。



お茶会とワークショップのお知らせ



地域おこし協力隊によるお茶会と、「元気が出る言葉を集める」ワークショップを行います。

日時：令和5年4月22日（土）

午前 10:00～正午 午後 2:00～4:00

場所：重田家住宅（玉村町小泉42）

参加無料

ワークショップにご参加いただいた方にシールをプレゼントします！

生涯学習課文化財係・地域おこし協力隊共同開催

お気軽にお立ち寄りください♪



まちづくり玉村塾情報

杜のコンサート

日時：令和5年4月23日（日）

17:00～19:00

場所：玉村八幡宮（下新田1 65-2305）神楽殿

出演者：坂田早苗さん（シャンソン歌手）

上里知巳（ピアノ）

入場数：120席

チケット：2,000円 絶賛発売中！

お問い合わせは、玉村町住民活動サポートセンター
ぱるまで（65-7155）

玉村町自治まちづくり広場にて

まちづくり玉村塾 活動20年の軌跡発表！

3月17日（金）、玉村町自治まちづくり広場が開催され、群馬県立女子大学の安保博史教授による講演と、



まちづくり玉村塾の活動20年の発表を行いました。活動20年を迎えたまちづくり玉村塾の今後の活動に注目です。

古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「安政二年五月十二日地頭御用金上納督促状」を毎回少しずつ読んでいきます。第十二回目はこの文章を読んでいきましょう。今回でこの文書は終わりになります。



書き下し文：念書の為件の如し 出役 小安伴右衛門 安政二卯年六月

読み方：ねんしよのためくだんのごとし しゅつやく こやすはん えもん あんせいにいとうどしろくがつ

現代語訳：念書（後日の証拠として念のため書いて相手に渡しておく書面）のため右に述べたとおりである。

関東取締出役 小安伴右衛門 安政二卯年六月（次号へ続く）
○玉村町誌別巻㉔（三右衛門日記一）く別巻首（三右衛門

日記五）歴史資料館にて好評発売中！

☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館（電話）0270-30-6180
☎370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島325番地 玉村町文化センター内

